

学生向け 自宅からオンラインで使える電子資料活用術

- | | | |
|-------|--------------------------------|--------|
| Case0 | 利用する前に | P. 2 |
| Case1 | レポートを書くのってどうすればいいですか？..... | P. 3 |
| Case2 | 英語学習、これを機会に始めたいです | P. 4 |
| Case3 | 気になるニュース、もっと深く知りたいです | P. 5-6 |
| Case4 | ニュースや新聞に出てきた言葉の意味を調べたいです | P. 7 |
| Case5 | 論文を検索したいのですが、どうすればいいですか？ | P. 8-9 |

Case0

利用する前に

「自宅からオンラインで使える電子資料活用術」について説明します。

Case1～5で紹介するコンテンツには、**リモート** **フリー** のどちらかのマークがついています。

リモート	コンテンツ名
	図書館が契約している電子資料です。自宅のPC、もしくはタブレット等から利用する場合は、「リモートアクセス」を使用してください。
	利用方法 「 学外からデータベースを利用するには 」
	アクセス 「 学外から電子リソースを利用する（リモートアクセス） 」

フリー	コンテンツ名
	無料で利用できるコンテンツです。コンテンツ名をクリックすれば利用できます。
	リモートとフリーの違い
	リモートマークのデータベースは専門知識があるスタッフによって作られ、かつ責任の所在が明確にされている価値のある情報です。「リモートアクセス」を介するか、学内のPCからアクセス可能です。フリーのマークのコンテンツは、公共機関が公開しているなどの信頼性が高いもので、どこからでもアクセスできます。

Case1

レポートを書くのってどうすればいいですか？

授業の課題でレポートの提出を求められることがあると思います。まずはレポートとはどういうものか、文献の引用の方法などをレポートの書き方に関する本（電子ブック）で把握しましょう。さらにWordなどの使い方を解説しているコンテンツも参考にして、書式を整えましょう。

リモート Maruzen eBook Library

概要 文系理系にかかわらず、広い範囲の学術書がオンラインで閲覧できます。

利用方法 購読契約しているタイトルから検索にチェックをつけて書名検索ボックスに「レポート」と入れて検索してください。読みたいタイトルの **閲覧** ボタンをクリックすると全文が読めます。**印刷/保存** ボタンからダウンロードして印刷できるものもあります。手元に置いておきたい場合は必要箇所をダウンロードもしくは印刷しておきましょう。

おススメ

・『コピペと言われないレポートの書き方教室 —3つのステップ：コピペから正しい引用へ—』山口 裕之(著)新曜社 2013年

・『レポート・論文の書き方入門 第4版』河野 哲也(著)慶應義塾大学出版会 2018年

・『大学1年生のための伝わるレポートの書き方』都筑 学(著)有斐閣 2016年

リモート 日経BP記事検索サービス

概要 WordやExcelを使った文書作成方法が掲載されています。

利用方法 トップページの **論文・レポートを書くの3.文書作成術を学ぶ** をクリックします。

Case2

英語学習、これを機会に始めたいです

易しい英語の本をたくさん読む「多読」という方法があります。多読に適したテキストが多数収録されているコンテンツがあるので活用してみましょう。また、英字新聞が読めるデータベースもありますので、時事に関するテキストにも触れてみましょう。

リモート Maruzen eBook Library

概要 文系理系にかかわらず、広い範囲の学術書がオンラインで閲覧できます。


利用方法 **購読契約タイトル一覧** をクリックします。左側にある絞り込み項目の **ジャンル** の **人文科学** をクリックし、絞り込み項目の **出版社/提供元** にある

- ・センゲージラーニング
- ・マクミランランゲージハウス
- ・ケンブリッジ
- ・ワイリー・パブリッシング・ジャパン／ワイリー・ブラックウェル

をクリックすると各シリーズの電子書籍が表示されます。読みたいタイトルの **閲覧** ボタンをクリックすると全文が読めます。**印刷/保存** ボタンからダウンロードして印刷できるものもあります。

リモート ヨミダス歴史館(読売新聞記事検索)

概要 読売新聞の記事の他に英字新聞「The Japan News」が読めます。読売新聞の社説などの翻訳記事が掲載されていますので、両方検索すると対訳で読むことができます。

利用方法 **The Japan News** のタブをクリックして、検索語入力ボックスに「EDITORIAL」と入力します。読売新聞の社説の翻訳記事が一覧表示されますので、 のマークがついた記事を選択します。日本語の記事を読みたいときは、**この記事**を邦文で**読む** ボタンをクリックします。

Case3-1

気になるニュース、もっと深く知りたいです

ニュースを深く知るには、一つのキーワードで複数の新聞を検索してみると様々な角度からニュースを分析できます。福岡大学図書館では複数の新聞記事データベースを契約していますので、読み比べが可能です。さらに、ある程度まとまった分析を読みたいときは、雑誌の記事がおすすめです。

リモート **朝日新聞クロスサーチ(朝日新聞記事検索)**

リモート **毎索(毎日新聞記事検索)**

リモート **ヨミダス歴史館(読売新聞記事検索)**

リモート **日経テレコン(日本経済新聞記事検索)**

概要 キーワードなどから記事の検索・閲覧が可能です。

リモート **日経BP記事検索サービス**

概要 経済系以外にもサイエンスや生活、サービス系の専門誌を検索・閲覧できます。

リモート **毎索(毎日新聞記事検索)**

概要 経済系の雑誌「週刊エコノミスト」が検索・閲覧できます。

Case3-2

気になるニュース、もっと深く知りたいです

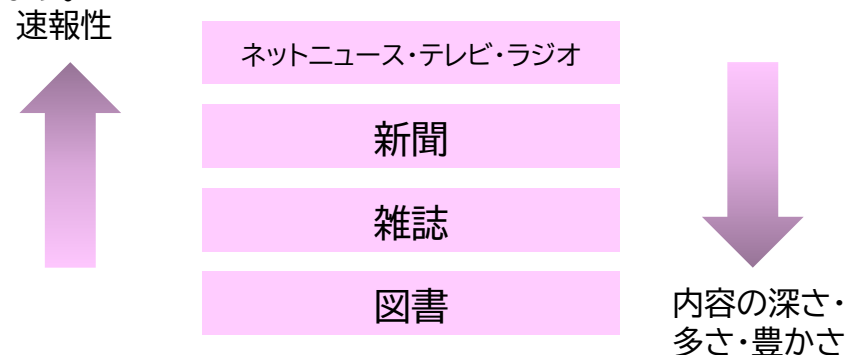
「新聞記事を読む時のポイント」と合わせて、「情報の鮮度と濃度」、「メディアの特徴」から知りたい情報はどんな媒体から得たらいいか、選択のヒントにしてください。

新聞を読む時のポイント

- ・「事実」と記者の「意見」を区別して読むこと。
- ・最低限2つ以上の新聞を参照すること。(各紙の記事の書き方は全く同じではない)
- ・記事の構成は最初に結論、次に重要な説明、最後に背景が述べられる。普通の文章とは逆順なので注意すること。

情報の鮮度と濃度

情報の鮮度と濃度は以下の図のように媒体によって異なります。自分の欲しい情報や目的に合わせて媒体を選択しましょう。



メディアの特徴

ネット	速報性が高い。情報の真偽、鮮度を確認する必要がある。
テレビ	映像を使ってわかりやすく伝えられる。得たい情報を放送まで待つ必要がある。
新聞	新聞紙面上で複数のニュースを一覧可能。新聞各社に特色がある。
雑誌	専門的知識を持つ著者や編集者によって作られる。まとまった情報が得られる。
図書	編集者が一定の責任を負って編集している。テーマの深掘りに役立つ。

Case4

ニュースや新聞に出てきた言葉の意味を調べたいです

無料で調べられるwikipediaはざっと意味をつかむのには便利ですが、それと合わせて必ず正確で用例が豊富な辞書を調べてください。他のデータベースを検索する前に、入力するキーワードを調べて類語や正式名称などを確認しておくことで検索の幅が広がります。

リモート **JapanKnowledge Lib**

概要 百科事典、国語・英和辞典の他に、今話題になっている言葉を解説する『現代用語の基礎知識』など多様な辞書類を横断検索できます。

こんな使い方も

新しい用語など今使われている言葉を調べる時は、新聞のデータベースを使って調べるのも有効です。調べたい言葉を検索するのもいいですし、各紙の解説コーナー名を()で括って入力し、検索すると話題になっている言葉の一覧を見ることができます。

各紙の解説コーナー名

リモート **朝日新聞クロスサーチ(朝日新聞記事検索)**

(いちからわかる!) (記者解説)

リモート **毎索(毎日新聞記事検索)**

(クローズアップ) (質問なるほど)

リモート **ヨミダス歴史館(読売新聞記事検索)**

(スキャナー)

リモート **日経テレコン(日本経済新聞記事検索)**

(きょうのことば) (経済教室)

Case5-1

論文を探したいのですが、どうすればいいですか？

あるテーマについて書かれている論文を探す時は以下のデータベースを検索してみましょう。検索結果から論文本文へのリンクがあるものもあります。各データベースは収録年や収録範囲が異なりますので、検索したいテーマに合わせて選択しましょう。

リモート **フリー** [CiNii Research](#)

概要 日本最大の学術論文・情報検索サービスです。学術系の論文を探したいときにおすすめ。

利用方法 検索結果一覧から各論文のタイトルをクリックすると論文本文へのリンクボタンが表示されます。(表示されないものもあります)ボタンの解説は以下をご覧ください。

[CiNii Research - マニュアル](#)

本文リンクがない論文に関しては、**福大OPAC** ボタンをクリックして図書館の所蔵を確認してください。所蔵があれば閲覧・複写できます。なければ文献複写依頼(有料)を依頼することもできます。

[ILL\(文献複写・貸借\)依頼](#)

CiNii Researchはリモートアクセスでも、リモートを通さなくても利用することができます。(リモートアクセスを通した場合、福大図書館の蔵書検索へのリンクが利用できます)

リモート **magazineplus**

概要 学術誌に加え、一般誌の記事の検索も可能です。論文以外の雑誌記事も調べたいときにおすすめです。

利用方法 検索結果から論文のタイトルをクリックすると論文の情報が表示されます。詳しくは以下のリンクをクリックしてください。

[MagazinePlus 利用ガイド](#)

Case5-2

論文を探したいのですが、どうすればいいですか？

フリー

[国立国会図書館デジタルコレクション](#)

概要

国立国会図書館で収集・保存しているデジタル資料を検索・閲覧できます。古めの雑誌や論文は公開されている場合があるので確認してみましょう。送信サービスで
閲覧可能の表示があるものは中央図書館で閲覧と印刷ができます。詳しくは以下をご覧ください。

[国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス](#)

なお、個人向けデジタル化送信サービスに登録すると、デジタルコレクションの検索・閲覧・印刷がご自分のPCから可能になります。詳しくは以下をご覧ください。

[個人向けデジタル化資料送信サービス](#)

学術雑誌とは

特定の研究分野の審査を経た論文が掲載されています。雑誌のタイトルに大学名が含まれているものは大学が出版している学術誌で、「紀要」と呼ばれています。

各データベースの収録範囲

CiNii Research

[収録データベース一覧](#)

magazineplus

[構成コンテンツ](#)

国立国会図書館デジタルコレクション

[デジタル化資料が収録されているコレクション一覧](#)